

ふくい 市議会だより

No.223

令和3年11月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



福い福!

いまの時代、自分からアビールしなきゃ!

9月
定例会 (8月30日～9月22日)

市長提出の議案21件、報告12件を
審議しました

主な議案は6～7ページ

審議結果は15ページ

陳情3件を審議しました

審議結果は15ページ

議員提出の議案2件を審議しました

審議結果は15ページ

議員26人が一般質問を行いました

詳細は8～13ページ

委員会審査

詳細は7ページ

予算特別委員会

詳細は14ページ

特集記事

● 高知市と観光プロモーション・

パートナーシップ協定を締結しました

..... 2～4ページ

● 常任委員会の市内視察を実施しました

..... 5ページ

↑ 令和3年度全国高等学校

総合体育大会が開催されました

令和3年7月24日から8月24日にかけて、福井
県他5県の各会場で開催されました。

福井市では、陸上、ハンドボール、自転車、ボク
シングなどが実施され、全国の高校生選手が持
てる力を存分に発揮しました。

令和3年7月21日

福井市と高知市は、 観光プロモーション・パートナーシップ協定 を締結しました。



締結式（左から、前田越前龍馬会長、皆川福井市議会議長、東村福井市長、岡崎高知市長、和田高知市議会議長、橋本全国龍馬社中会長）

令和3年7月21日、福井市立郷土歴史博物館にて、「高知市・福井市観光プロモーション・パートナーシップ協定」の締結式が開催されました。

今日まで坂本龍馬のご縁を繋いでこられた前田越前龍馬会長と、橋本全国龍馬社中会長の立ち会いのもと、東村福井市長と岡崎高知市長とが、それぞれ協定書にサインしました。

令和元年7月11日～令和2年6月1日

観光振興・歴史文化活用対策特別委員会における調査・研究活動



令和2年2月7日 高知市議会視察



令和元年12月6日 勉強会



令和元年7月11日～ 特別委員会

福井市議会では、令和元年7月11日に、観光振興・歴史文化活用対策特別委員会を設置し、以後1年間にわたって、歴史文化を生かした観光プロモーションについて調査研究を進めました。

その中で、勝海舟の使者として福井藩を訪れた坂本龍馬が、前藩主松平春嶽から金伍千両を借り受けた逸話など、高知市出身の偉人坂本龍馬と福井藩との関わりについて注目が集まったことから、理事者に対して、坂本龍馬を生かした観光プロモーション活動の実施を提案しました。

この提案のほか、同年12月には、福井市立郷土歴史博物館長を講師として議員・理事者を対象に勉強会を開催。また、令和2年2月には、東京の商業施設「まるごとにつぼん」や高知市議会を視察し、首都圏における観光PRなどについて調査しました。

高知市議会視察の際には、堀川福井市議会議長(当時)が伍千両分の小判を模した和菓子を土産として渡し、田鍋高知市議会議長(当時)から「これで壱萬両も借りてしまった」と笑い飛ばされるなどの小競り合いを演出。このやりとりが福井市と高知市の「令和の合戦」と銘打ち報道されるなど、特別委員会の活動が両市連携の観光プロモーションに繋がる仕掛けとなりました。

高知市の魅力

四国にある高知県の県庁所在都市で、人口約32万4千人(令和3年9月1日現在)の中核市です。太平洋に面しており、温暖多雨、日照時間も多い気候です。

景勝地である桂浜や民謡よさこい節など、数ある魅力的な名勝・名物の中でも、薫焼きの香りを楽しめる「かつおのタタキ」は絶品で、最近では塩でいただく食べ方もトレンドです。



高知はやっぱり
タタキぜよ!

◀かつおのタタキ

協定のねらい

日本海側の福井市と太平洋側の高知市とでは対照的な印象がありますが、農林水産業の生産者やものづくりの職人の気質など共通点が多く、特に「坂本龍馬ゆかりの地」という共通の歴史・観光資源を有しています。

両市がパートナー都市として、相互に連携・協力し、ゆかりの地であることを生かした観光出向宣伝やPRイベント及び観光情報の発信を行っていくことで、それぞれの地域の観光振興を図ります。



◀桂浜の龍馬像

Ryoma-1GP 開催!

令和3年7月より、福井市と高知市がタッグを組んで、現代の坂本龍馬(そっくりさん・なりきりさん)を探す「Ryoma-1GP 令和の坂本龍馬コンテスト」が開催され、多数の応募写真が審査されました。

審査の上位入賞者は、11月15日に京都市で開催される決勝大会に進み、ステージパフォーマンスによってグランプリを競います。その他、両市や龍馬ゆかりの地の観光をPRするステージや展示が予定されています。

なお大会当日は、坂本龍馬の命日でもあり、京都霊山護国神社で墓前祭「龍馬祭」が開催されるなど、全国の龍馬ファンが京都に集結します。大会の盛況と、両市の観光PRに期待しましょう。

★ 日 時: 令和3年11月15日(月) 10時~16時

※決勝大会は13時~15時

★ 場 所: 京都駅ビル駅前広場

※ 感染症の影響により中止又は内容が変わる可能性があります。

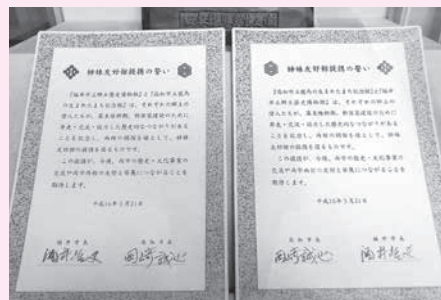
協定締結
までの
経過

平成16年 3月21日

福井市立郷土歴史博物館と 高知市立龍馬の生まれたまち記念館とが姉妹友好館提携



高知市立龍馬の生まれたまち記念館



姉妹友好館提携の誓い



福井市立郷土歴史博物館

福井市立郷土歴史博物館は、開館記念特別展として、『天下の事成就せり—福井藩と坂本龍馬—』を開催しました。同時に、高知市立龍馬の生まれたまち記念館と姉妹友好館提携を結び、情報交換や交流を進めていくこととしました。

坂本龍馬と福井について

土佐藩（高知県）出身の幕末の志士、坂本龍馬は、各地で多くの人々と交流していました。福井藩も代表的なその一つです。

龍馬は、幕府の海軍奉行 勝海舟の門弟となり、海舟が神戸海軍操練所設立の基金の援助を福井藩に求める際には、その使者となっています。

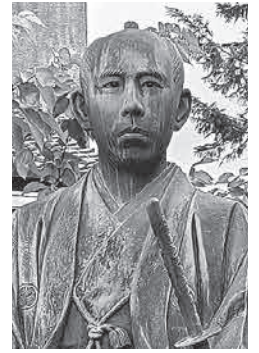
また、龍馬は維新後の新国家を構想する際に福井藩の考えを聞き取り、財政担当者として三岡八郎（由利公正）が最も望ましいと考えました。

龍馬にとってよき理解者であった福井藩は、「金（財源の確保）」も「人（有能な人材）」も頼りになる、まさに「打ち出の小槌」のような存在でした。

福井市立郷土歴史博物館 展示解説シートNo142
「令和3年夏季特別展 龍馬と福井」より引用



坂本龍馬像



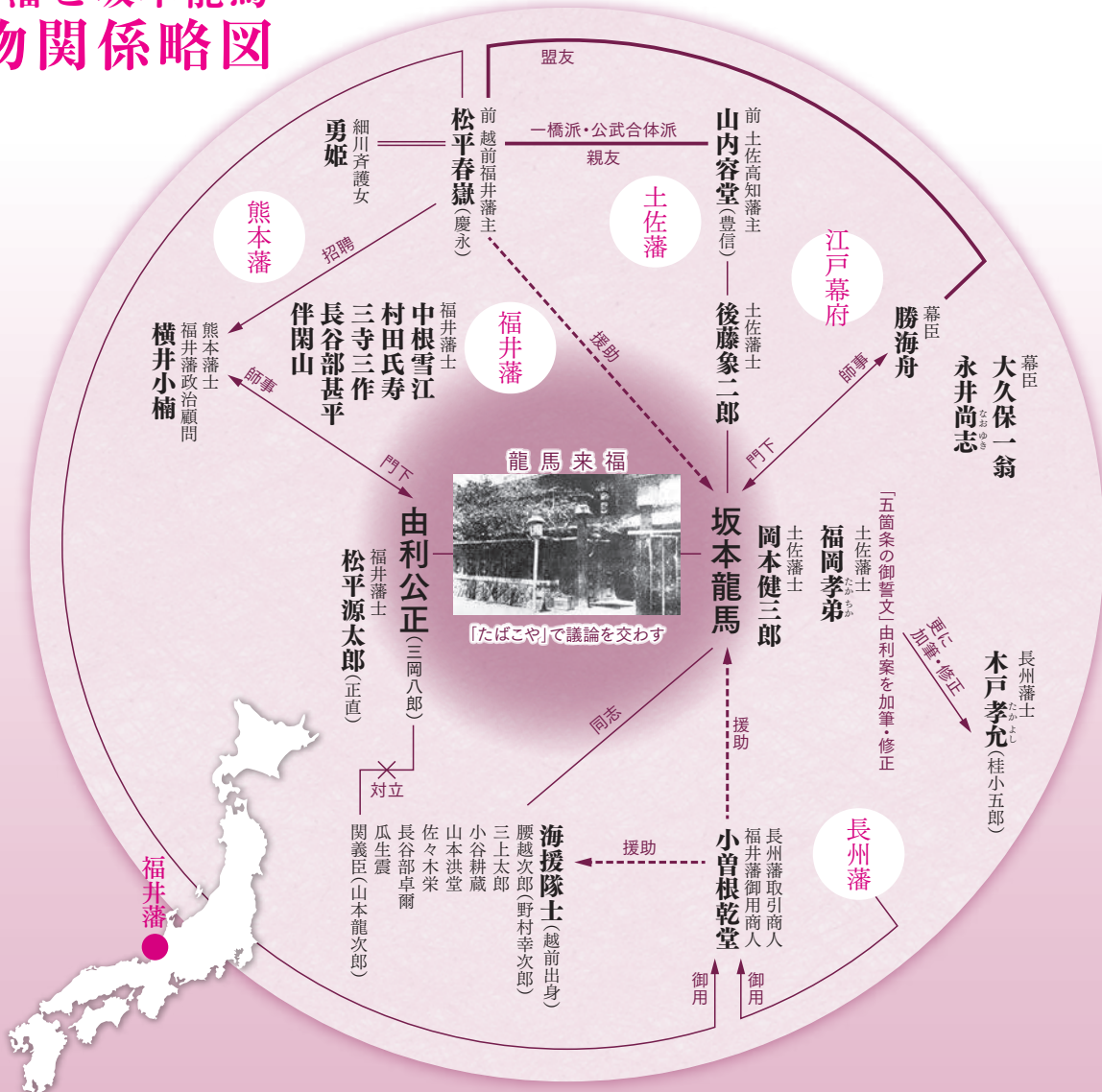
福井藩主 松平春嶽像

※ 両像ともに福井市立郷土歴史博物館



龍馬が滞在した「菘屋旅館」跡

福井藩と坂本龍馬 人物関係略図



常任委員会市内視察報告

総務委員会

日程：令和3年

7月12日(月)

視察先

- ① 福井市中消防署北分署
- ② 越廼サテライトオフィス



福井市中消防署北分署

総務委員会では、7月12日に福井市中消防署北分署と越廼サテライトオフィスの視察を行いました。福井市天池町に今年4月に開署した福井市中消防署北分署は、中消防署管内の森田分遣所と河合分遣所を統合した消防分署と、消防分団本部（森田分団）を併合する施設で、大雨時の浸水対策もしっかりとなされています。

越前水仙の里公園内にある越廼サテライトオフィスは、市内外の法人や個人事業主、団体等がテレワーク事業やワーケーション等々に利用できる施設で、平成30年度に総務省の補助金を活用し、既存施設を改修して開設されたものです。WiFi（ワイ・ファイ）、プリンター、プロジェクター等が備え付けられ、窓越しに日本海を眺めながら快適に仕事ができる環境でした。



福井市防災ステーション

教育民生委員会では、7月13日にイワタニ水素ステーション福井灯明寺と福井市防災ステーションの視察を行いました。

イワタニ水素ステーション福井灯明寺は、市内で初の水素ステーションです。水素ガスは、燃焼してもCO2等を出さない究極のクリーンエネルギーと言われており、この施設では、高圧で水素を貯蔵し、燃料電池車へ燃料として供給することができます。本市としても、水素エネルギーの啓発、普及促進に力を入れるべきと感じました。

福井市防災ステーションには、煙中体験室等があり、防災訓練・教育を行うことができます。また、施設内には、感染症対策用の間仕切り板の他、防寒用具、ワンタッチプライベートルームや携帯用トイレ、オムツ、生理用品等が備蓄されています。今後増えることが予想される豪雨等災害への備えが必要であると改めて感じました。

教育民生委員会

日程：令和3年

7月13日(火)

視察先

- ① イワタニ水素ステーション 福井灯明寺
- ② 福井市防災ステーション



北陸新幹線高柳高架橋

建設委員会では、7月21日に北陸新幹線の福井駅舎と高柳高架橋を視察しました。

視察時は福井駅舎の工所用足場がまだ外れていませんでしたが、現在では「悠久の歴史と自然が見える駅」として、一乗谷朝倉氏遺跡の唐門をモチーフにした福井の歴史を感じさせる勇壮な駅舎外観が目見えています。観光案内所やカフェなどが入る拡張施設も駅東側に整備される予定です。

続いて、新幹線の線路が併走する高柳高架橋を視察。高架橋に上り、実際に新幹線が走る線路の際に立つと、感慨深いものがありました。

新幹線開業で地域の賑わいと経済活動の活性化を図るべく、福井の魅力を大いに発信していきたいと思えます。

建設委員会

日程：令和3年

7月21日(水)

視察先

- ① 北陸新幹線福井駅舎
- ② 北陸新幹線高柳高架橋

※ 経済企業委員会の市内視察は、11月に予定しております。

特別委員会の委員を選任しました

委員会名	委員名						委員長	副委員長
予算特別委員会	◎福野 大輔	○酒井 良樹	青木 幹雄	堀川 秀樹	野嶋 祐記		泉 和弥	
	今村 辰和	片矢 修一	田中 義乃	藤田 諭	岩佐 武彦		岩佐 武彦	
	菅生 敬一	八田 一以	池上 優徳	山田 文葉	調査項目 各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件			
決算特別委員会	◎堀川 秀樹	○中村 綾菜	見谷喜代三	野嶋 祐記	堀江 廣海		寺島 恭也	
	片矢 修一	伊藤 洋一	水島 秀晃	津田かおり	調査項目 各会計決算等の審査			

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、15ページに掲載しています。

令和3年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で19億3,850万5千円を増額するものです。また、特別会計では競輪特別会計で1億9,780万3千円を増額するものです。

補正後の各会計の予算額は、一般会計で1,206億8,759万8千円、特別会計で749億4,680万3千円、企業会計で300億2,200万円となり、全会計で2,256億5,640万1千円となります。

○一般会計補正予算

〈新型コロナウイルス感染症対応に関する事業〉

新型コロナウイルス感染症対応に関する次の4項目の事業に、6億1,481万6千円を計上するものです。

(1) 感染拡大防止の強化

時間外・休日におけるワクチン接種費用の国の加算措置について、ワクチン接種を早期完了するため7月末までとされていた措置が当面の間継続するた

め、「新型コロナウイルスワクチン接種事業」の経費の補正などを行うものです。

(2) 安全・安心な市民生活の確保

感染症の影響で利用者が減少している越美北線について、各種利用促進事業を行う「越美北線利用拡大キャンペーン事業」、社会福祉施設等での福祉避難所開設時の感染症対策として、簡易パーテーション等の物品を市で備蓄するほか、一部を施設に配備する「福祉避難所感染症対策事業」などを行うものです。

(3) 地域経済への支援

感染症の影響で農業における人材不足が危惧されるため、市特産品の実践的な栽培技術を学ぶトレーニングハウスを整備する等、地方移住による新規就農者のための受皿を作り、未来の農業を支える人材を確保、育成する「未来の農業を支える新規就農者応援事業」などを行うものです。

(4) 新しい生活様式への対応

感染症の影響で文化的活動が制限される中、合唱、演劇、ダンスなど文化的活動での利用

が多い田原町ミュージズが、情報発信の拠点として活用されるよう、動画配信環境を整備する「田原町ミュージズ動画配信環境整備事業」、24時間365日いつでも問い合わせができる、AIを活用した問合せ自動応答サービス「AIチャットボット」の機能を拡充し、市民サービスの向上や窓口の効率化に取り組み「AIチャットボット拡充事業」などを行うものです。

〈国・県の補助金等に伴う事業〉

クマの人身被害を防止するため、生活圏にある柿など工サとなる樹木の伐採経費の一部を助成する「ツキノフグマ誘引樹木伐採事業」などに、1億408万3千円を計上するものです。

〈各種施策を推進するための取組〉

北陸新幹線福井開業に向けて機運醸成を図るため、近隣自治体と連携した市民参加型の開業PRイベント等を実施する「北陸新幹線福井開業2年前「福いいネー」イベント事業」、大雨による災害復旧事業、令和元年度までの決算剰余金の一部を財政調整基金への積立などに、12億1,960万6千円を計上するものです。

○競輪事業会計補正予算

大阪・関西万博協賛競輪の収益の一部を公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に協賛金として支出するほか、地方公共団体金融機構に公営競技納付金を納付するため、1億9,780万3千円を計上するものです。

条例

○福井市個人情報保護条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の規定を整理するものです。

人事案件

○固定資産評価審査委員会委員

本年9月30日をもって任期満了となる増田健治氏を引き続き選任することに同意しました。

○人権擁護委員

本年12月31日をもって任期満了となる山本利幸氏を引き続き、同日任期満了となる高務智子氏の後任に高屋興子氏を新たに、同委員候補として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案（議員提出議案）

〈意見書の提出〉

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出し

ました。
○ 地方財政の充実・強化を求める意見書
○ コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(委員会終了順に掲載)

財政再建下での持続的市勢発展対策特別委員会

《財政再建計画の取組状況について》

問 コロナの影響により、市税収入の減少が予想されるが、財政調整基金残高の達成見込みについて、どのように考えているのか。

答 コロナ対策事業については、臨時交付金など国の補助金等を活用することで、決算剰余金を出し、目標を達成していきたい。

意見 本市が所有する資産の有効活用や、クラウドファンディングなど、歳入の確保も財政再建の重要な取組であると考え、行政の力だけで目標を達成できるものではなく、民間の活力を生かすことが重要

である。市民が力をあわせ何とか財政を再建していきたいというメッセージを発信してほしい。

《コロナ禍の地域経済対策について》

問 企業の倒産件数は少ないとの報告があったが、飲食店などの経営者からは経営状況は非常に切迫していると相談を受けている。どのようなデータに基づいているのか。

答 商工会議所への聞き取りや民間の調査会社のデータを参考にしており、民間の調査によると、倒産件数はこの20年間で最も低い水準であると聞いている。国と県合わせ

て1億1,000万円の融資が可能であり、この緊急的な措置により当面の倒産については抑えられていると考えている。

総務委員会

《北陸新幹線福井開業2年前「福いいネー」イベント事業》

問 新幹線開業に向けた機運醸成のため取り組んでいる「福いいネー」関連事業の中には、民間の方々も協力して取り組んでいるものもあるが、こういった事業も含め、開業後も継続して取り組んでいくのか。

答 新幹線開業までは新幹線プロモーション課が本市のイメージ戦略を担い、「福いいネー」の活用については全庁的な取組として進めている。開業後も引き続き全庁一丸となつて本市を全国に発信していくよう、万全な組織体制を構築したい。

要望 開業後も各部局がしっかりと引き継ぐなどして、特に事業効果が高いものについては、継続して予算化し取り組んでほしい。

建設委員会

《路線バス安定運行緊急支援事業》

問 コロナ禍でえちぜん鉄道や京福バスなどの公共交通の利用率はかなり落ち込んでいると思うが、今後の見通しや公共交通事業者への支援について、市としてどのように考えているのか。

今年4月から7月までの4か月間の状況をコロナ禍前の令和元年度と比較すると、利用者で約2割、公共交通事業者の収益で約3割減少している。今後のコロナの状況にもよるが、すぐに利用者数が回復することは難しく、本市としても公共交通を支えていくことは大変重要であると考えているため、利用者の減少や経営環境の悪化が今後もさらに続くようならば、国の交付金等を活用した支援も検討していきたい。

経済企業委員会

《財産の無償譲渡について（旧福井市美山森林温泉みらくる亭）》

問 譲渡先の株式会社O3dinningには、譲渡後も温泉として施設を活用し、長く経営してほしいと思うが、会社としての信頼度はどうか。

答 O3dinningは、市内に烏料理専門店を2店、県内に料理旅館を1店経営しており、経営状況はいずれも好調であると伺っている。また、みらくる亭の改修等に係る経費は国の補助金を活用する予定であり、先日、採択する旨の通知があった。補助金の申請に当たっては、地元金融機関が事業計画や資金計画を確認しており、併せて地元金融機関として支援することの確約書もあることから、しっかりと運営していただけるものと考えている。

教育民生委員会

《新ごみ処理施設整備に係る調整池整備工事》

問 今回の工事の予定価格に対する落札額の比率は、近年の工事落札額の傾向に比べ1割以上も低くなっており、このことが下請業者へのしわ寄せとなり、低賃金での労働を余儀なくされる懸念があるが、市はどのような対策を行っているのか。

答 今回の工事は低入札価格調査の対象となっており、工事発注後も市の担当職員が元請、下請の事業者に対して施工体制の点検を行うこととなる。その中で、人件費が極端に安価となっていないかなど契約内容を確認し、不適切な部分があれば是正を求めていく。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、9月6日から8日まで3日間、26人の議員が一般質問を行いました。
※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 令和3年7月29日の本市の豪雨被害について 2 本市の「ひきこもり支援」について</p>	<p>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <p>1 新型コロナへの対応について (暮らしや中小企業への支援) 2 北陸新幹線建設により不便で高くなる並行在来線の問題について 3 流域治水関連法の成立と福井市の治水対策について</p>	<p>⑲ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <p>1 市街化区域における大雨冠水対策について 2 通学路の安全について</p>
<p>② 泉 和弥 (新政会)</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対応に関する事業について 2 地域コミュニティの維持・活性化活動について</p>	<p>⑪ 中村 綾菜 (無所属)</p> <p>1 子どものマスク着用について 2 コロナ禍における学校への影響とICTの活用について 3 コロナ禍における保育園、児童クラブの対応について 4 男女共同参画、女性活躍推進、女性の健康支援について</p>	<p>⑳ 奥島 光晴 (新政会)</p> <p>1 県立高校入試の2月前倒しの一考察について (現中学校3年生に与える影響) 2 異常気象を引き起こす温室効果ガスの削減について (2050年カーボンニュートラルの実現に向けて)</p>
<p>③ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 新型コロナウイルス対策について 2 本年度の米の価格について</p>	<p>⑫ 近藤 實 (無所属)</p> <p>1 三里浜オリーブ栽培について 2 27,500万円(農業排水分)の返還について 3 平成18年度地方財政措置、一般会計繰出金(公費負担)の見直しについて 4 平成18年度各自治体の雨水分の資本費に係る繰出金は減額していないと考える(本市は減額していない)について 5 住民監査請求での上下水道経営部の陳述について 6 住民監査請求(令和3年5月7日請求)について</p>	<p>㉑ 岩佐 武彦 (一真会)</p> <p>1 障がい者の雇用促進について 2 道路標示の維持補修について 3 福井市少年自然の家の魅力向上について</p>
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <p>1 避難情報と避難所について 2 保育園・認定こども園の災害時の休園基準について 3 GIGAスクール構想の促進について</p>	<p>⑬ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 デジタルトランスフォーメーション(DX)と都市計画道路について</p>	<p>㉒ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症の感染対策について 2 介護保険における利用者の負担増加について 3 重度障がい者の福祉について</p>
<p>⑤ 藤田 諭 (新政会)</p> <p>1 7月29日の豪雨被害について</p>	<p>⑭ 水島 秀晃 (一真会)</p> <p>1 福井市の防災と備蓄品整備について 2 本市の保育園・認定こども園の状況について</p>	<p>㉓ 加藤 貞信 (新政会)</p> <p>1 福井市北部地域(森田・河合地区)の道路整備について 2 福井市北部地域における学校規模適正化について 3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について</p>
<p>⑥ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 ゼロカーボンシティの推進について 2 新型コロナ対策について 3 スロベニアとの友好について</p>	<p>⑮ 石丸 浜夫 (新政会)</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 災害対策について</p>	<p>㉔ 榊原 光賀 (一真会)</p> <p>1 第八次福井市総合計画(素案)について</p>
<p>⑦ 堀江 廣海 (一真会)</p> <p>1 福井市のまちづくり指針について</p>	<p>⑯ 寺島 恭也 (一真会)</p> <p>1 災害に対する備えについて 2 学校給食について</p>	<p>㉕ 津田 かおり (公明党)</p> <p>1 教育環境の整備について 2 女性のがん対策について 3 農業の担い手確保・育成について 4 女性の視点からの防災対策について</p>
<p>⑧ 田中 義乃 (新政会)</p> <p>1 コロナ禍の経済対策について 2 北陸新幹線福井開業に向けて</p>	<p>⑰ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <p>1 道路除雪計画の見直しについて 2 洪水ハザードマップの見直しについて</p>	<p>㉖ 青木 幹雄 (一真会)</p> <p>1 第八次福井市総合計画(素案)について 2 令和4年度重要要望書について 3 次代を担う青年について</p>
<p>⑨ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 JR福井駅西口広場に設置されたモニュメントの現在とその有効活用について 2 福井フェニックススタジアムの施設の管理運営の不備と老朽化について 3 北陸新幹線福井駅開業を前ににぎわい創出のカギとなるアオッサ内アオッサモールの空き店舗問題について</p>	<p>⑱ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症予防対策について 2 福井市都市交通戦略について</p>	

なげ地地し、ららつ、合、係、等、復、た、回、農、被、農、氾、道、
るすで、85%、95%、い、を、る、の、事、主、担、軽、減、
る農家組合等の事業に主たる責任を負うこととした。
るすで、85%、95%、い、を、る、の、事、主、担、軽、減、
る農家組合等の事業に主たる責任を負うこととした。
るすで、85%、95%、い、を、る、の、事、主、担、軽、減、
る農家組合等の事業に主たる責任を負うこととした。

回答
7月29日の大雨により、道路の冠水や崩壊、河川の氾濫、床上床下浸水のほか、農地、農業施設にも甚大な被害が発生した。今回の農地や農業施設の復旧に際しては、事業費の補助率をいさげるとのことだが、現行及び今回の補助率はど
うなっているのか。

質問
令和3年7月29日の本市の豪雨被害について



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

一般質問要旨



いずみ かずや
泉 和弥 議員
新政会

質問
学校、保育園、認定こども園における保育士等のメンタルヘルス対策について

質問
学校や保育園等では、子どもたちが活動全般においてマスクを着用できない中、教職員や保育士の感染予防対策に加え、これまで以上にメンタルヘルス対策が必要になると考えるが、今後どのように対応していくのか。

回答

回答
保育士等のメンタルヘルスについては、園の一般監査の中で職員に対するストレス軽減の取組を確認している。また、公立園では子育て支援課に配属している園長経験者が定期的に園を訪問し、職員の相談に対応している。教職員については、各学校の管理職に対して、教職員の心身の状態に異常を感じた場合は直接相談に乗ったり、医療機関への受診を進めるなどの対応をお願いしているほか、教職員自身もストレッチエグゼを実施し、各自で心身の状態を確認している。今後も教職員や保育士等の心身の状態を適宜把握し、心身ともに安心して勤務できるように努めていく。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

質問
新型コロナウイルスの感染拡大による学校の休校について

質問
県内において、児童・生徒のコロナ感染が目立ってきているが、本市における学校、放課後児童クラブの休校、休所の基準はどのようになっているのか。また、休校が長引いた場合、家庭でのリモート学習には現時点で対応可能か。

回答

回答
学校において、児童・生徒の感染が判明し、感染可能期間に登校や勤務していた場合は、保健所により濃厚接触者及びPCR検査対象者が特定され、校内の消毒が完了するまで一旦学校の全部を臨時休業とする。ただし、校内で感染が広がっている可能性が高いと判断された場合は、休業期間の延長を検討することとしている。児童クラブを休止する際の基準は、基本的に学校と同様である。また、陽性者が出た学校の臨時休業が長期化した場合は、土曜日や休業日を授業日に振り替えているが、児童・生徒が濃厚接触者となり、学校を休まなければならなくなった場合は、リモートで授業を受けさせるなどの対応が取れるよう、現在準備を進めている。



さかい よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

質問
保育園・認定こども園の災害時の休園基準について

質問
地域の災害リスクを把握している市が災害時の休園基準を設定することについて市の見解を伺う。また、基準の設定に関しての今後の取組は。

回答

回答
保育園等においては休園に関する明確な定めがないため、これまでは各園の設置者が休園を判断してきた。しかしながら、年々大雨等の災害が甚大化する中で、具体的な基準を決められず休園に踏み切れない園が多数見受けられることから、厚生労働省は地方自治体に休園基準等の策定を求めている。本市においても休園基準を策定し、関係者間で共有するとともにその対応について保護者の理解を得ることが必要であると考えている。今年7月に土砂災害など5つの災害に対して休園基準の素案を取りまとめ、現在内容の検証等を行っている。今後は、民間園等と再度協議した上で、10月末までに災害発生時等における保育所等の臨時休園のあり方を策定する。



ふじた さとし
藤田 諭 議員
新政会

質問
7月29日の豪雨被害について

質問
近年の大雨により、頻繁に道路冠水が増えている。水に強く水害の被害を拡大しない対策として、水の流れをコントロールすることや、遊水地や貯留施設などの治水対策を強化することも、今後、必要となるが、本市の考えは。

回答

回答
国は、従来の河川管理者が主体的に行う治水対策に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害軽減に取り組む流域治水プロジェクトを推進している。本市においても、従来の河川整備に加え、遊水地や雨水貯留浸透施設の整備、田んぼダム等、河川管理者や下水道管理者、農業従事者など、流域のあらゆる関係者と連携し、実施しているところである。今後、流域全体で治水安全度の向上を図っていきたいと考えている。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

質問
ゼロカーボンシティの推進について

質問
今年3月に、本市はゼロカーボンシティを目指すことを発表した。ゼロカーボンシティとは、2050年までにCO2の排出量を実質ゼロにすること（脱炭素化）を目指す旨を公表した地方公共団体のことを指している。今後、どのようにゼロカーボンシティを実現させるのか。

回答

回答
国が示す方針や政策を注視し、国の支援も活用しながら、本市の自然環境や、電気使用量が多く自動車保有率が高いといった特性を踏まえ、事業に優先順位をつけ、全体像をしっかりと把握し、進捗管理することや2050年のゼロカーボンシティを目指す。具体的には、今年度、公用車として燃料電池自動車を導入する。また、市立図書館のリニューアルに際し、建物の年間エネルギー消費量の実質ゼロを目指す、ZEBの考え方に沿ったものとなるよう検討している。

福井市のまちづくり指針について



ほりえ ひろみ
堀江 廣海 議員
一真会

質問

第八次福井市総合計画(素案)における本市をとりまく社会状況では、「防災・減災」、「社会資本の老朽化」など、課題を捉えた形となつているが、「新型コロナウイルス感染症などのリスクに対応できる社会づくり」を除外し、目新しいとは言えない。今回の策定に当たり、こうした課題を取り上げた理由を改めて伺う。

回答

総合計画素案策定に当たり、「防災・減災」、「社会資本の老朽化」については、いかなる災害においても機能不全に陥らない強靱な地域をつくり上げていく必要がある。また、「新型コロナウイルス感染症などのリスクに対応できる社会づくり」については、社会経済活動をしっかりと持続できるまちづくりが求められている。ため、課題として設定した。ほかにも「SDGsの推進」などの課題を設定している。素案では、これらの課題に対応していくための政策や施策を示しており、これらを着実に進めていく。

北陸新幹線福井開業に向けて



たなか よしのり
田中 義乃 議員
新政会

質問

北陸新幹線福井開業は2年半後に迫っているが、それに伴う「にぎわいの創出」は、コロナの影響でブレーキがかかっており、このままでは市民も企業も新幹線開業への期待感を持っていない状況である。

コロナから新幹線開業への切替えをどう行うのか、戦術を伺う。

回答

本市の魅力を視覚的に分かりやすく伝える手段として、昨年7月に、イメージロゴ「福いいネー」を制作した。市内での機運醸成を図るため、PR動画の放映や民間企業等によるロゴの活用など、市民の目に触れる機会が増えるよう取り組んできた。これらの取組を最大限に生かしながら、新幹線開業2年前となる来年3月には、県や市町が連携した開業PRイベントを開催する予定である。このイベントが市民の意識を高める一つの契機となると考えている。今後、福井の様々な魅力を高めることができるイベントを開催しながら、期待感を高めていく。

福井フェニックススタジアムの施設の管理運営の不備と老朽化について



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

質問

施設管理においては球場内、特にロッカールーム、シャワールーム、トイレ、救護室の整理・清掃に不備があり、カビ等が発生している部屋もある。また、グラウンド内は芝生や土の養生ができておらず、プレーに支障を来している。さらに、サブグラウンドも含めた設備の老朽化及び破損箇所が放置されている。至急改善を。

回答

施設の清掃や芝生の管理が行き届いていなかったことについては、委託業者に対し直ちに改善を求めた。今後は、市職員が定期的に施設内の点検を実施し、良好な施設状況を維持していく。また、プレーに支障がある内野の整地については、早急に実施する。その他の必要な整備については、来年度以降、計画的に実施し、安心して利用できる施設となるよう整備したい。

超富裕層への課税を強化し、国民を救う財源を



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

質問

新型コロナウイルスの厳しい影響が長引き、倒産や廃業、失業が増えているにもかかわらず、長者番付上位50人の資産は、昨年の18兆3,000億円から、今年は27兆5,000億円へと急増した。コロナ禍で苦しむ国民を救う財源をつくるため、政府に、大企業・大資産家への課税強化を求めざるべきでは。

回答

法人税については、7月のG20財務相・中央銀行総裁会議において、「コロナ禍での歳出拡大による財政悪化等を懸念し、最低税率15%以上で合意され、さらに、巨大IT企業へのデジタル課税についても決着する模様である。また、国は所得が1,000万円超の方には配偶者控除を適用しないことや、2,500万円超の方について基礎控除を撤廃するなど、高所得者への税負担を強化している。今後、法人税や所得税を取り巻く動向を注視していく。

女性の健康支援について



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
無所属

質問

配偶者やパートナーからのDV、若年層でのデートDVが深刻化している。市民への啓発強化、意識の醸成に取り組みとともに、被害に遭われた方への支援、緊急避妊薬(アフターピル)に関する啓発をお願いしたいが、市の見解は。

回答

市では、誰もが被害者や加害者にならないよう認識を深めるため、「DV・ハラメント防止講座」を実施している。今後は、配偶者等からの暴力防止に向けた意識を醸成するための取組を一層強化していく。現在、市HPには、福井県済生会病院内において24時間体制で性暴力の被害に対する相談を行う、「性暴力救済センターふくい」ひなぎく」の情報を掲載しているが、今後は、緊急避妊に係る診療が可能な医療機関等の情報も掲載し、啓発を図っていく。

三里浜オリーブ栽培について



こんどう みのる
近藤 實 議員
無所属

質問

オリーブ栽培には大変関心がありとても期待している。

福井市農業活性化プランによると、オリーブ、ぶどう、ももなどの栽培拡大、新たな産地化やブランド化を図っていくと書かれている。オリーブ栽培の現状と生産・販売見通しについて伺う。

回答

昨年度末時点で栽培面積5・1ha、16品種、1,816本のオリーブを栽培している。昨年度の生産量は、果実約350kg、オイル27ℓ、塩漬け63kgであった。

販売面では、白方町に搾油施設を設置し、10月以降にオリーブオイルを試験販売する。また、新たに生産組合が開発したオリーブ茶については、PR販売を実施したところ、売行きは上々であった。

今後は生産規模の拡大を進めるため令和7年度までに定植本数3,000本、栽培面積8・6haを目標とし、加工品の販売も拡大していく。

DXと都市計画道路について



はた いちい
八田 一以 議員
一真会

質問

現在策定中の第八次福井市総合計画実施計画の都市計画道路整備事業として、東藤島地区内の未整備区間2・2kmにおいて、道路拡幅事業が計上されること、来年度の重要要望に記載されることを期待しているが、見解について伺う。

回答

都市計画道路松岡菅谷線は、福井市中心部と北陸自動車道や中部縦貫自動車道を連絡する重要な幹線道路であり、緊急輸送道路にも位置づけられているため、整備が完了していない東藤島地区内の約2・2kmは早期の事業化が必要と考えている。そのため、現在策定中の第八次総合計画の実施計画に計上し、今年11月に実施する交通量調査の結果を基に、車線数や交差点形状等の整理をする予定である。

また、事業を進めるためには多額の費用を要するため、来年度より本市の重要要望に記載し、国や県などの関係機関に対して要望を行っていく。

本市の保育園・認定こども園の状況について



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
一真会

質問

本市の待機児童は年度当初はゼロであるが、毎年度途中に5〜10人程度生じており、共働き世帯の増加で、0〜2歳で預けたいと思っている家庭が増えているのが実情である。今後、保育ニーズをどのように確保していくのか。

回答

保育ニーズ量と定員の確保量を比較すると、市内全域では十分な定員を確保しているが、区域によっては定員の確保量に不足が見込まれるところもある。そのうち森田地区を含む九頭竜区域では、昨年度、新しい園を開園する事業者を募集した。令和4年度には3つの認定こども園が開園し、新たに420人の定員が確保される見込みである。また、花堂保育園の臨時的な開園や定員の弾力化により、年度途中の入園児の受け入れに対応している。引き続き、区域ごとの需給バランスを整理しながら、私立園の新設や老朽化が進む公立園の建て替えも含めた再配置を進め、保育ニーズを満たす受皿の確保を図っていく。

災害対策について



いしまる はまお
石丸 浜夫 議員
新政会

質問

7月29日、大雨と高波を警戒して、国見地区でも避難所を開設した。避難の長期化により、飲食物や衣類、寝具の提供、避難所を運営する人員などいろいろな負担がかかると思われる。行政は避難所をどのように運営していくのか。

回答

災害の規模によっては避難生活の長期化や、多数の避難所の開設が予想される。避難所運営は事前に選定した市職員と自主防災組織の地域住民が中心となることから、人員不足が懸念され、飲料水や食料品、衣類、寝具等の生活必需品が不足することも考えられる。人員不足が生じる場合には、災害時応援協定に基づき、他自治体に職員の派遣を要請し、併せて災害ボランティアによる避難所運営を行っていく。また、備蓄品が不足する場合には、生活物資等の供給に関する協定に基づき、民間企業等から調達するほか、他自治体等からの救援物資に対応していくこととなる。

新学校給食センター整備運営事業について



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問

老朽化した南北の学校給食センターをついにし、さらに一部の単独調理校もセンターからの配送校とする、1日1万3,000食分を提供できる大規模な給食センターを、福井市で初のPFI事業で整備する予定だが、現在までの事業の進捗状況は。

回答

本年4月15日に入札公告を行い、6月16日から6月18日にかけて受付を行ったところ、3グループから申込みがあり、資格審査を行った。いずれのグループも入札参加資格があることを確認し、7月1日付で各グループへ結果通知を行った。また、8月23日に入札提案書の提出を受け、9月から10月にかけて外部有識者が入るPFI選定委員会を開催し、事業者の選定を行う予定である。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
新政会

道路除雪計画の見直しについて

質問

道路除雪車両のGPS導入費用が計上されているが、早期に全車両に導入してほしい。またGPS配備だけではなく、システムの活用で過去の作業検証や日報集計ができるものがあれば、企業も職員も作業を効率化できるのではないかと。さらに、除雪企業のグループ化についてはどのように改善するのか。

回答

まずは重点除雪路線及び美山ブロックの除雪車にGPSを搭載し、県と情報を共有することで、連携した効率的な除雪作業に取り組む。また、今後は日報集計システムを導入し、除雪協力企業や職員の負担軽減を図るなど、除雪作業全体の効率化に努める。さらに、除雪協力企業のグループ化においては、協力企業に対し運用の周知が十分でなかったため、現在、福井土木事務所、福井地区建設業会、福井市の3者で協議を重ねながら、大雪時の優先路線や応援体制の構築、一般除雪路線への応援体制等について検討している。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

福井市都市交通戦略について

質問

コミュニティバスすまいるは、路線バスに変更となり、京福バスが運行することになるが、一体何がかわるのか、利用者にとってメリットはあるのか。また、30分のパターンダイヤから、45分間隔となることに、利用者は戸惑うのではないかと。

回答

コミュニティバスすまいるは、平成12年に中心市街地活性化のためのお買物バスとして運行を開始し、にぎわいづくりの一翼を担ってきた。その後、通勤通学での利用が増えるなど、その役割も次第に変化してきていることから、今年10月から、まちづくり福井が現在運行しているコミュニティバスから、京福バスが直接運行する路線バスに変更することになる。今回、ダイヤの改正に伴い、運行時間を30分から45分にすることで、これまで遅延が生じていた問題を解消し、定時性が確保される。また、始発便を最大30分繰り上げ、最終便も最大40分繰り下げることで、通勤通学の利用者がより利用しやすい運行とする。



いとう よういち
伊藤 洋一 議員
新政会

市街化区域における大雨冠水対策について

質問

7月29日と8月14日(秋雨前線)の大雨災害を受けて、市街化区域において内水氾濫対策も含め更なる排水能力の向上等、抜本的な冠水対策を進める必要があると考えるが、所見を伺う。

回答

現在、効果的な対策を検討するため浸水シミュレーションという手法を用いて、浸水状況の把握や施設能力の評価を行っている。その結果、時間の経過や降雨量の変化による各地区における浸水の範囲、深さ、継続時間を把握したところであり、地区それぞれの対策の必要性を確認している。この対策の環として、足羽地区と社北地区においては、令和5年度の完成を目指し加茂河原ポンプ場更新事業を進めている。

今後、切れ目なく下水道合流区域における対策を推進することで、これまで浸水が発生した地区の被害を軽減し、市民の皆様の安全・安心を確保するよう努める。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

県立高校入試の2月前倒しについて

質問

現中学3年生が受験する2021年度の県立高校入試の日程が2月に繰り上げられる。その背景には、近年、県立高校の志願倍率は1倍前後で推移しており、私立高校に流れる生徒を食い止めるための思惑があるのではないかと。すべては県立高校のためでなく、生徒のためでなくてはならないと考えるが、所見を伺う。

回答

今年度、入試日程が繰り上げられたことにより、受験生が入試時期にコロナに感染したり、濃厚接触者になったりした場合でも、2月中に受験の機会が与えられることは大変大きなメリットであると考えている。その結果、進路が決まらず不安な気持ちのまま卒業式を迎える中学生は減るものと考えている。



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
一真会

障がい者の雇用促進について

質問

障がい者の特性等に依りて、幅広い分野で活躍できるように、農業分野の雇用機会の拡大を行うための具体的な取組とは。

回答

令和元年度に本市では就労支援事業所や農業者に対し、農福連携に関するアンケート調査を行い、現状や課題の把握を行った。調査の結果、農業・福祉双方の理解不足や、就労支援事業所の農業技術の不足などの課題を認識したところである。それらの課題を解消するため、まずは農福連携に関心を示した就労支援事業所と農業者のマッチングや、市の雇用調整員による農業関連企業への訪問、会社見学会の開催などの連携に向けた取組を行っている。

現在、新型コロナウイルスの影響により取組は一時中断しているが、今後障がい者の雇用が可能な農業関連企業を開拓し、会社見学会や短期の就労体験などを通じて相互理解を深めることで、さらなる雇用機会の拡大を図っていきたいと考えている。



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

**出張ワクチン接種医療
機関へ協力金を**

質問 コロナ終息のために命を張って頑張っている医療機関が、ワクチン接種活動により赤字が増える状況について市長の見解は。

回答 高齢者施設での接種については、本市では本年3月に各医療機関にアンケートを行い、高齢者施設への巡回接種に協力可能と回答のあった医療機関と個別に協議を行った上で、施設での接種をお願いしている。可能な限り医療機関の希望を踏まえて調整を行っており、費用面も含めて了承の上、接種を行っていただいたものと考えている。在宅の高齢者等に対するワクチン接種については、在宅医療を実施している医療機関に御協力いただいている。訪問診療時に併せてワクチン接種を行うことで、ワクチン接種費に加えて訪問診療に対する診療報酬を算定することは国が認めているため、医療機関ではそのように対応していただいていると考えている。



かとう さだのぶ
加藤 貞信 議員
新政会

**東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会に
ついて**

質問 両大会には、福井市ゆかりの選手8人が参加し、野球競技では金メダルを獲得した。お祝いを申し上げるとともに、メダルを獲得できなかった各選手の健闘にも心から敬意を表したい。これから敬意を表したい。これら福井市ゆかりの選手に対する市長の思いは。

回答 オリンピック・パラリンピックという最高の舞台で活躍された皆様は、心からのお祝いと敬意を表する。オリンピックでの野球の金メダル獲得は、まさに快挙であり、吉田正尚選手と栗原陵矢選手については、福井市民に大きな夢と希望を与えていただいた功績を長く伝えるため、市民栄誉賞、報奨金を9月中にはお贈りしたいと考えている。今後も、福井市ゆかりの選手の皆様に、より一層の活躍を期待するとともに、本市スポーツのさらなる発展にお力添えをいただきたいと考えている。



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
一真会

**若者のU・イターン就職、
地元就職の促進について**

質問 学生は、SDGs達成に取り組んでいる企業であることが知られ、志望度が7割超も上がり、就職先として魅力を感じるという調査結果がある。企業のSDGsの取組を、地元就職の促進に活用してはどうか。

回答 本市では現在、経営者との座談会や企業訪問などを行い、学生と企業をつなげる支援を行っている。これらの事業には、女性活躍や働き方改革に積極的に取り組んでいる企業、海外展開等競争力のある企業、地域に貢献している企業など、学生にとって魅力的な特徴を持つ企業が参加している。今後はSDGsへの取組を行っている企業も加えていく。また、SDGsへの取組が企業のイメージアップや人材確保につながることを、中小企業雇用促進相談員の企業訪問において、事業主に対して周知していく。



つだ かおり
津田 かおり 議員
公明党

通学路の安全対策について

質問 児童5人が死傷した千葉県八街市での事故を受け、先月、通学路の危険箇所合同点検を行っているが、どういった危険箇所が報告されたのか。また、どういった対策をしていくのか。

回答 危険箇所については、多くの児童が通る場所であるがスピードを出す車が多い箇所、横断歩道の信号が青から赤に切り替わるのが早く横断する際に危険な箇所などについて、報告を受けている。このような箇所については、先月、警察、道路管理者、学校とで合同点検を行い、どのような対策が有効かを検討した。対策としては、車の減速を促す区画線の設置や、横断歩道の青信号時間の延長などを実施する予定である。また、八街市の事故を受け、文部科学省から新たな3つの視点が示されたおり、それについても学校から改めて報告を受けている。今後、追加で合同点検を実施し、改善策の検討を行っていく。



あおき みさお
青木 幹雄 議員
一真会

**令和4年度重要要望書に
ついて**

質問 2000年に施行された地方分権一括法により、地方政府という言葉が聞かれるようになった。地方政府確立のために全国市長会副会長である東村市長の果たす役割は大きいと思うが、現状と今後についての考え方は。

回答 国から地方への財源移譲は進んでおらず、地方の財源は国からの地方交付税や国庫支出金によらざるを得ないのが現状である。地方が担う事務と責任に見合った財源の配分となるような改善が必要であると感じている。地方自治の興隆繁栄のため、地方の声を国に対してしっかりと届け、国と地方が地方分権一括法において示された真の意味での対等・協力関係となるよう力を尽くしていく。

*各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。

予算特別委員会

各党派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

青木 幹雄 今村 辰和
八田 一以 福野 大輔
池上 優徳 岩佐 武彦

新政会

野嶋 祐記 田中 義乃
藤田 諭 泉 和弥

市民クラブ

堀川 秀樹 片矢 修一
酒井 良樹

公明党

菅生 敬一

日本共産党

山田 文葉

○新学校給食センター整備 運営事業

問 将来を見通すことは困難であるが、想定外のことが発生するものとして考えておく必要がある。万が一、事業者が倒産した場合、学校給食の提供に影響はないのか。

答 落札したグループは本事業を行うためだけの特別目的会社であるSPCを設立することとなるが、万が一、SPCを構成する企業のうち、ある企業が倒産した場合でも、代わって事業を続ける企業をあらかじめ設定している事例が多くなっている。そのため、このような場合でも事業は継続され、学校給食の提供は続けられるものと考えている。

○誘客プロモーション

問 北陸新幹線福井開業2年前「福いいネー」イベント事業として実施を計画している、近隣自治体と連携した市民参加型の開業PRイベントの詳細な内容は。

答 このイベントは、福井駅から二次交通でつながる永平寺町、勝山市、大野市と連携して実施する予定であり、新幹線開業を意識するような体験プログラムや連携自治体によるブースの出展などを想定している。詳細については、公募型ポータル方式により提案を募集し、決定することとなる。今後、節目の時期を捉え、県や市町と連携し、開業PRや福井の様々な魅力を感じるイベントを開催することで、開業に向けた機運醸成を図りたい。

○歩行者利便増進道路（通称ほこみち）制度の社会実験の内容とにぎわい創出

問 ふくみちプロジェクトの社会実験の結果が、市街地再開発計画の中に溶け込み、にぎわいにつながることを望むが、どのように考えているのか。

答 今回のプロジェクトには、再開発組合等の関係者も参加しており、再開発ビルに出店するテナントとキッチンカーなどの事業者それぞれがメリットとなる体制づくりができるよう協力関係を築いていきたいと考えている。また、ふくみちプロジェクトの道路空間が、様々な事業者のチャレンジする場となり、駅周辺で開業していくような流れが生まれることを期待している。再開発ビルに出店するテナントに加えて、ほこみちでのキッチンカーやオープンカフェなどの出店で新たな楽しみ方が増えることから、これらの相乗効果により、にぎわいが創出されるよう取組を進めていく。

○新型コロナ対策

問 平日昼間はワクチンの個別接種の予約枠がなかなか埋まらないが、夜間や土曜日は予約がいつぱいの状態である。平日昼間の予約枠を絞って夜間の枠を拡充するなど、予約枠の設定を見直す必要があるのではないか。

答 当初、9月から10月にかけて、市体育館サブアリーナを会場として、子どもや保護者が接種しやすい土曜日に12歳から18歳の方を対象に420人分の集団接種枠を設けたが、予約開始後、すぐに予約が定員に達したため、さらに180人分を追加し、加えて、市防災センターを会場として、12歳から39歳の方を対象に300人分の集団接種を新たに日曜日に追加実施することとした。また、若年層が接種を受けやすくなるため、10月中は各土曜日に280人分の個別接種の予約枠を増やすなど、協力いただける医療機関において夜間、休日の接種体制を確保していく。

○重度障がい者福祉施策における自治体としての役割

問 現在、来年度からの基幹相談支援センター業務の受託法人を選定しているところであると思うが、新たに受託する法人がこの事業から撤退することのないよう、市として今後どのようにバックアップしていくのか。

答 障がい者の相談は年々複雑化しており、問題を解決するためには高度な専門性を有する民間事業所のスキルが必要である。このことから、今後はさらに事業者や専門家と密に連携を取り、対応を強化していきたいと考えている。また、本市では虐待や困難事例の相談などについては専門職を中心に他の業務に優先し、直接自宅に伺うなど障がい者に寄り添った対応を行っている。今後も引き続き、このような対応を通じて基幹相談支援センターの業務負担軽減に努めていきたい。

YOUTUBEで
予算特別委員会の
動画をご覧いただけます。



9月15日



9月16日

(9月定例会)		議案等の審議結果			
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)	
第48号議案	令和3年度福井市一般会計補正予算	9月22日	原案可決	●	
第49号議案	令和3年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	●	
第50号議案	福井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	〃	〃		
第51号議案	福井市個人情報保護条例の一部改正について	〃	〃	●	
第52号議案	福井市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	〃	〃		
第53号議案	福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃		
第54号議案	福井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃		
第55号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃		
第56号議案	工事請負契約の締結について(新ごみ処理施設整備に係る調整池整備工事)	〃	〃	●	
第57号議案	工事請負契約の締結について(東安居団地D棟新築工事)	〃	〃	●	
第58号議案	財産の取得について(高規格救急車)	〃	〃	●	
第59号議案	財産の無償譲渡について(旧福井市美山森林温泉みらくる亭)	〃	〃	●	
第60号議案	市道の路線の廃止について	〃	〃		
第61号議案	市道の路線の認定について	〃	〃		
第62号議案	町の区域を新たに画することについて	〃	〃		
第63号議案	令和3年度福井市一般会計補正予算	〃	〃		
第64号議案	令和2年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	〃	継続審査		
第65号議案	令和2年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃		
第66号議案	令和2年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	〃	〃		
第67号議案	令和2年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃		
第68号議案	固定資産評価審査委員会の選任について	〃	同意		
第19号報告	債権放棄の報告について	8月30日	受理		
第20号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	〃	〃		
第21号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和2年度決算に関する報告について	〃	〃		
第22号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和3年度事業計画等に関する報告について	〃	〃		
第23号報告	まちづくり福井株式会社の令和2年度決算に関する報告について	〃	〃		
第24号報告	まちづくり福井株式会社の令和3年度事業計画に関する報告について	〃	〃		
第25号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和2年度決算に関する報告について	〃	〃		
第26号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和3年度事業計画等に関する報告について	〃	〃		
第27号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和2年度決算に関する報告について	〃	〃		
第28号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和3年度事業計画等に関する報告について	〃	〃		
第29号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度福井市一般会計補正予算)	9月22日	承認		
第30号報告	令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率等の報告について	〃	受理		
市会案第11号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	〃	原案可決		
市会案第12号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	〃	〃		

(9月定例会)		請願・陳情の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (賛否状況は下部に掲載)	
陳情第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	9月22日	採択		
陳情第8号	地域活性化の拠点である美山庭球場「ウイंक」の積極活用について	〃	不採択	●	
陳情第9号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決することを求める意見書の提出について	〃	〃	●	

賛否が分かれた議案等一覧

賛 …賛成 反 …反対
 ※原則議長(皆川信正)は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	一真会											新政会							市民クラブ				公明党		日本共産党		無所属						
		皆川	見谷	青木	今村	堀江	八田	福野	池上	水島	寺島	榎原	岩佐	加藤	石丸	野嶋	奥島	田中	藤田	泉	伊藤	堀川	玉村	片天	村田	酒井	下畑	菅生	津田	鈴木	山田	中村	近藤	
第48号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第49号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第51号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第56号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第57号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第58号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第59号議案	原案可決	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第8号	不採択	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第9号	不採択	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長の動静 (令和3年7月～9月)

7月1日	道路・河川要望活動 (大阪府)
5日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議会運営等懇話会 (持ち回り決議)
7日	重要要望活動 (東京都)
13日	福井県市町総合事務組合臨時議会 (福井市)
27日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会・第181回定例会 (あわら市)
8月10日	福井県市議会議長会定期総会 (福井市)
24日	北信越市議会議長会理事会 (オンライン会議)
27日	日本海六県港湾都市議会協議会総会 (書面開催)
9月30日	市民栄誉賞授与式 (福井市)

9月定例会

8月30日	本会議
31日	議会運営委員会
9月6日	本会議 (一般質問)
7日	本会議 (一般質問)
8日	本会議 (一般質問)
9日	総務委員会、建設委員会
10日	教育民生委員会、経済企業委員会
15日	予算特別委員会
16日	予算特別委員会
17日	議会運営委員会
22日	議員全員協議会、本会議

定例会外の議会日程 (令和3年7月～9月)

7月8日	議会運営委員会
8月2日	議会運営委員会
18日	財政再建下での持続的市勢発展対策特別委員会
23日	議員全員協議会、議会運営委員会
30日	議員全員協議会

編集後記

9月定例会では、26名の議員が一般質問し、新型コロナウイルス感染症対策、7月29日の豪雨被害や災害対策などについて、活発な議論を行いました。

さて、今号の特集記事では、高知市との観光プロモーション・パートナーシップ協定を取り上げました。この協定は、坂本龍馬と福井藩との関係を基に、福井市議会の提案で2年前から議論を深めた成果です。今後も、しっかりと調査研究を重ね、理事者に提案する議会となるよう努めてまいります。(堀川、片矢)

一般質問の録画映像を各議員ごとにスマートフォンやタブレット端末で見ることができます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

傍聴をご希望される方へ

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止に向けて、一定の間隔を確保してご着席いただくため、当分の間、傍聴席への入場を下記のとおり制限させていただきます。

- ・ 議場：40人まで うち車イス4席 (本会議及び議員全員協議会など)
- ・ 各委員会室：2人まで (常任委員会など)

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

財政再建下での持続的市勢発展対策、予算

議員全員協議会

今回は
12月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します



市議会HPはこちらから

福井市議会 日程

検索